

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 荒木 剛	職名 准教授	学位 修士 (社会福祉学)
---------	--------	---------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
高齢者福祉、ソーシャルワーク、実習教育	高齢者福祉、ソーシャルワーク、社会福祉士養成教育

研 究 課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者福祉領域におけるソーシャルワーク実践のあり方。</li> <li>・ 社会福祉士養成教育における実習のあり方。</li> </ul>

担 当 授 業 科 目
福祉入門 (1 年次通年) 介護技術演習 (1 年次後期) 高齢者福祉論 (2 年次通年) 相談援助実習指導 I (2 年次通年) 相談援助演習 II (2 年次前期) 相談援助演習 III (2 年次後期) 高齢者支援学 I (2 年前期) 相談援助実習指導 II (3 年次通年) 相談援助実習 (3 年次通年) 相談援助演習 IV (3 年次前期) 相談援助演習 V (3 年次後期) 専門研究 I (3 年次通年) 社会福祉特講 II (4 年次後期) 専門研究 II (4 年次通年) <b>【不開講科目】</b> 基礎実習 (1 年次通年)、高齢者支援学 II (4 年前期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<b>授業科目名【福祉入門】</b> 本科目は、1 年次開講の福祉基礎科目 (必修) で、学生の社会福祉への動機や関心を高めることを目的としている。講義では、初学者である 1 年生が福祉課題の現状や対人援助職の魅力・やりがいを理解できるよう、統計資料や DVD 等を活用した。また、授業全体のマネジメントを担い、教授内容の検討や外部講師との日程調整等を行った。
<b>授業科目名【介護技術演習】</b> 本科目は、外部講師 2 名による介護技術の実技指導を主な内容としている。講義では、講義環境の整備や使用物品の準備等について外部講師との調整を行った。また、単元ごとにレポートを提出させ、技術面だけでなく、介護者としての視点や考え方の習得度を把握した。 ※本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、6 回で終了。残り 8 回は、次年度に開講予定。
<b>授業科目名【高齢者福祉論】</b> 本科目は、社会福祉士指定科目の 1 つである。講義では、教科書を中心としたレジュメを作成し、学生の内容理解を助けた。また、遠隔授業であることを考慮し、授業の展開を図った。講義後には、コメントカードを提出させ、学生の理解度の把握に努めた。

<p>授業科目名【相談援助実習指導Ⅰ】</p> <p>本科目は、相談援助実習（3年次）の実施に向けた準備学習を主な内容としている（高齢者福祉領域を担当）。講義では、自己学習とグループ学習を通して、実習領域、施設、利用者理解が深まるよう努めた。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習指導Ⅱ】</p> <p>本科目は、相談援助実習（3年次）の事前および事後指導を主な内容としている（高齢者領域福祉を担当）。実習前には、実習計画書、個人紹介票、誓約書等の作成指導を通して、学生の動機づけを行った。実習後には、個別面談により、実習体験の学び・気づきを深めさせた。また、本年度は新型コロナウイルスの影響で実習時期や期間にばらつきが出たため、各人の状況に応じた指導を行った。</p>
<p>授業科目名【相談援助実習】</p> <p>本科目は、社会福祉士受験資格取得のための学外実習（180時間）を行うものである（高齢者福祉領域を担当）。実習を実施するに当たり、実習指導者との連絡調整を密に行い、実習環境の整備と教育効果の向上に努めた。また、本年度は新型コロナウイルスの影響で実習時期や期間にばらつきが出たため、各人の状況に応じた対応を行った。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習Ⅱ】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つである。講義では、ソーシャルワーカーとしての基本的視点、姿勢、支援過程、面接技法、記録等について教授した。また、遠隔授業であることを考慮した授業展開を行い、教育効果の担保に努めた。</p>
<p>授業科目名【相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ】</p> <p>本科目は、社会福祉士指定科目の1つである。講義では、要支援高齢者の事例を用いてケアマネジメントの手法や権利擁護のアプローチを教授した。また、遠隔授業であることを考慮した授業展開を行い、教育効果の担保に努めた。</p> <p>※相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴはオムニバス形式のため、講義内容・方法は同じ。</p>
<p>授業科目名【高齢者支援学Ⅰ】</p> <p>本科目は、保健福祉学部3学科による合同講義である。内容は、アクティブ高齢者への支援について、講義とPBL（事例検討）を通して検討するものである。本年度は遠隔授業で実施したため、例年以上に、学生の内容理解を助けられるよう、説明方法や提示資料を工夫した。また、PBLにおいても、学生の議論が円滑に展開できるよう授業運営に努めた。</p>
<p>授業科目名【社会福祉特講Ⅱ】</p> <p>本科目は、4年次の開講科目であり、社会福祉士国家試験対策としての位置づけもある。講義では、高齢者福祉を担当し、国家試験で出題が予想される制度改正や学生の理解度が十分でないと思われる内容を中心に教授した。</p>
<p>授業科目名【専門研究Ⅰ】</p> <p>本科目では、ゼミ全体で研究テーマを設定した後、各人が個別の課題について自己学習を行った。学生指導においては、できる限り各人が研究への関心を深め、意欲的に学習に取り組めるよう努めた。</p>
<p>授業科目名【専門研究Ⅱ】</p> <p>本科目では、各人が研究テーマ・課題を設定し、レポート作成に取り組んだ。学生指導においては、コミュニケーションを密に図り、進捗状況に応じた個別指導を心がけた。</p>

### 学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等（任期）	加入時期
日本社会福祉士会		1998年4月～現在に至る
日本社会福祉学会		2002年3月～現在に至る
日本地域福祉学会		2007年3月～現在に至る
日本介護福祉学会		2007年3月～現在に至る
日本ケアマネジメント学会		2008年1月～現在に至る

2020年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等	任期 期間等
北九州市社会福祉協議会 (権利擁護・市民後見センター運用委員会)	委員	2009年4月～現在に至る
北九州市社会福祉協議会 (福祉人材バンク事業運営委員会)	委員	2012年4月～2020年3月
北九州市社会福祉協議会 (総合企画委員会)	委員	2018年4月～現在に至る
社会福祉法人兼恵園 (評議員会)	評議員	2017年4月～現在に至る

学内における活動等（役職、委員、学生支援など）
教務委員（2019年4月～現在に至る） 地域連携室室員（2016年8月～現在に至る）